

[交通アクセス]



- 大阪モノレール彩都線：『**阪大病院前**』下車
- JR東海道本線（京都線）：JR茨木駅から近鉄バス[阪大本部前行き]で『**阪大医学部病院前**』下車
- 阪急電鉄京都線：阪急茨木市駅から近鉄バス[阪大本部前行き]で『**阪大医学部病院前**』下車
- 地下鉄御堂筋線：北大阪急行千里中央駅から阪急バス[阪大本部前行き]で『**阪大医学部病院前**』下車



[阪大病院ニュース]

阪大病院ニュースをwebで公開しています。

阪大病院ニュース

検索

 大阪大学医学部附属病院

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号 TEL. 06-6879-5111 (代表)

阪大病院

検索

27-07



Osaka University Hospital Outline

大阪大学医学部附属病院 要覧



Live Locally, Grow Globally

2015



OSAKA UNIVERSITY



Contents [目次]	
理念・基本方針・患者さんの権利・患者さんの責務	02
優(やさ)しい医療、適(かな)える医療	03
病院長からのご挨拶	04
沿革	05
機構／職種別職員数／職員	07
資料	09
診療科別外来患者数／病棟フロア別入院患者数	
資料	11
臨床検査件数／手術件数／画像検査患者数／輸血検査件数／処方枚数／病理業務件数／リハビリテーション実施単位数／地域別入院患者数／治験件数／移植件数／院内がん登録件数／入院、外来抗がん剤調製件数／ドクターヘリ出動件数／分娩件数／血液浄化療法施行件数	
医療機関の承認・指定状況等	13
経理状況／未来医療の推進	14
構内建物配置図／階別配置図・病床数	15
施設の案内	17
写真で見る大阪大学医学部附属病院	18



病院機能評価認定証
2011年1月に(財)日本医療機能評価機構から
最新基準(Ver.6.0)に認定されました。

理 念

大阪大学医学部附属病院は、
良質な医療を提供すると共に、
医療人の育成と医療の発展に貢献する。

[医の先進性を志して145年]

1869(明治2)年大阪府が大福寺に仮病院・医学校を設立した際、緒方
洪庵の嗣子緒方惟準、義弟郁蔵、養子拙斎らがこれに参加。この医学
校は、後に幾多の変遷を経て現在の大阪大学医学部となった。
阪大病院の理念は緒方洪庵の思想を受け継いでいる。



緒方 洪庵

基本方針

- 患者本位の安心・安全な全人的医療の提供
- 高度先進医療・未来医療の開発・実践
- 社会・地域医療への貢献
- 豊かな人間性を持った優れた医療人の育成

患者さんの権利

- 人として尊重された医療を受けることができます。
- 安全で質の高い医療を受けることができます。
- 充分な説明と情報提供を受けることができます。
- 自由な意思によって治療を選ぶことができます。
- 個人の情報は保護されています。

患者さんの責務

- 本院の規則を遵守し、迷惑行為は慎んでください。
- ご自身の健康状態について、できる限り正確にお話してください。
- 適切な治療方針を決めるために、ご自身の意思や意見を伝えてください。
- 治療方針をご理解のうえ、ご協力ください。
- ご加入の保険を正確に伝え、受けた医療に対する医療費をお支払いください。



優（やさ）しい医療、適（かな）える医療

豊かな人間性を持った優れた医療人の育成

- 超高齢化社会における課題を問題提起して解決できる人材の育成。
- 看護・医療技術領域の医療専門職の育成を図るとともに、職員の医療安全能力の向上に資するための実践的教育パッケージの開発を継続し活用する。



未来医療の開発・実践と地域医療への貢献

- 未来医療開発部を軸に、創業基盤を形成する拠点としての臨床研究体制の充実を図る。
- 「研究者主導臨床試験の実施に係るガイドライン」への対応。



病院運営のための基盤強化

- 病院長のリーダーシップのもと、院内の診療・運営体制の見直しを図るとともに、業務の効率化を促進する。
- 地域におけるがん診療体制の一層の連携強化を図るため、オンコロジーセンター棟を新設し、がん診療の機能を集約化する。
- 国及び地方公共団体等との連携強化
- 高度機能病院として必要な診療環境を確保するため、施設の整備・改修を図るとともに、医療機器の更新・充実を図る。
- 患者サービスに資する体制の見直しを進め、患者の立場に立った安心・安全な医療の提供を推進する。
- 防災対策及び災害医療に係る検討を行い、院内外の連携体制の強化を図る。
- 国内実施例の約4割を占める「脳死臓器移植手術」等の高度・先進的な医療を、積極的に展開する。



診療と教育のグローバル化

- 国際医療センターにおける外国人患者の診療体制並びに外国人医療従事者等の研修受入れ体制を整備する。



病院長からのご挨拶

大阪大学医学部附属病院

病院長 金倉 譲



大阪大学医学部附属病院は、地域の中核病院として、質の高い信頼される医療を行うとともに、特定機能病院として、先進医療の実施・開発や医療人の育成に貢献してまいりました。今後とも、大学病院の使命である「診療、教育、研究」の一層の発展に力を注いでいきたいと思っております。

阪大病院の理念「良質な医療を提供すると共に、医療人の育成と医療の発展に貢献する」は、江戸時代に大坂の町に適塾を開塾した緒方洪庵の思想を受け継いだものです。司馬遼太郎は、「洪庵のたいまつ」という青少年に向けた文の中で、緒方洪庵の人となりについてこう語っています。「世のためにつくした人の一生ほど美しいものはない。緒方洪庵のことである。この人は江戸末期に生まれた医者であつた。かれは名を求めず、利を求めなかつた。あふれるほどの実力がありながら、しかも他人のために生き続けた。そういう生涯は、はるかな山河のように実に美しく思えるのである。（中略）洪庵は、自分の恩師たちから引き継いだたいまつを、よりいっそう大きくした人であつた。かれの偉大さは、自分の火を、弟子たちの一人一人に移し続けたことである」。適塾を舞台にして、洪庵は蘭書の翻訳を通じて新しい西洋医学を日本に紹介し、全国から集まってきた千名に及ぶ塾生の教育などに力を注ぎました。適塾の塾生たちは、智力思想の活発高尚なることに自負を持ち、ひたすら修業をしたようでありました。その人々が中心となって明治に入って大阪医学校、そして、昭和になって大阪大学、大阪大学医学部附属病院へととなりました。この連綿と続く歴史を顧みて、改めてその源流の適塾に、そして、緒方洪庵の心に思いを馳せたいと思います。

阪大病院には、極めて質の高い、しかも、安全な医療を提供することが求められております。医師、看護師、薬剤師、検査技師、栄養士や事務部門が有機的に連携し、病院機能を向上させる必要があります。また、業務の効率化を図るとともに、施設の整備・改修も積極的に行いたいと考えています。現在、高度機能病院としての医療を実践するため、病棟の整備・改修を行っており、平成27年5月にICUの増設を行いました。また、地上5階地下1階建てのオンコロジーセンター棟を平成27年9月に開設し、がん診療のなご一層のレベルアップと機能の集約化を行います。研究面では、未来医療開発部を中心として、創業や新しい医療技術を開発するために、治験や臨床研究体制の充実を図りたいと思います。教育面では、人間性豊かで優しい医療人、質が高く深い知識を有する専門医、世界に発信できる先進医療を担う研究者など、多様な人材を育成することが重要だと考えています。

阪大病院の原点を今一度思い起こし、患者さんに信頼される「優（やさ）しい医療、適（かな）える医療」を目指し、真摯に力を尽くしていきたいと思っております。

1838(天保9)年	蘭学者緒方洪庵「適塾」開塾。
	
1869(明治2)年	新政府は、小松帯刀、後藤象二郎等の提唱により大阪府下大組内久宝寺町(現大阪市天王寺区上本町)に文部省直轄大坂病院(緒方一族主宰)を設置した。
1870(明治3)年	文部省は当該病院を大阪府に移管し、大阪府は府立病院及び医学所を設立した。
1871(明治4)年	再び文部省直轄となった。
1872(明治5)年	文部省の学制改革に伴い、医学所及び病院が廃止された。
1873(明治6)年	2月 大阪府は西本願寺掛所に大阪府病院を開設し、教授局を付設した。
1879(明治12)年	3月 北区常安町に病院を新築し、移転と同時に大阪公立病院と改称、別に教授局を設けた。
	
1880(明治13)年	3月 府立大阪病院と改称し、教授局を分離して、府立大阪医学校を設立した。
1888(明治21)年	1月 府立大阪病院を府立大阪医学校に包摂し、校名を大阪医学校と改称した。
1893(明治26)年	3月 大阪医学校産婆養成所が開設された。
1898(明治31)年	4月 大阪医学校附属看護婦養成所が設立された。
1903(明治36)年	10月 専門学校令により、大阪府立高等医学校と改称された。

1915(大正4)年	10月	府立大阪医科大学と改称した。
1919(大正8)年	11月	大学令により府立大阪医科大学を改組し、大阪医科大学となって病院もこれに準じた。
1924(大正13)年	10月	大阪医科大学病院を大阪医科大学附属医院と改称した。(大阪市北区堂島浜通)
		
1931(昭和6)年	5月	勅令第67号により大阪帝国大学が創設され、大阪医科大学を移管して医学部と改称された。
		
1939(昭和14)年	1月	東館が増築された。
1943(昭和18)年	4月	北区堂島浜通から福島区堂島浜通に地名変更。
1945(昭和20)年	6月	看護婦養成所を厚生女子部と改称した。
1947(昭和22)年	10月	政令第204号により大阪帝国大学は大阪大学に改められた。
1949(昭和24)年	5月	国立学校設置法の公布に従い新制大学に包括され、医学部附属医院の名称は、医学部附属医院に改められた。
1951(昭和26)年	4月	大阪大学医学部附属医院厚生女子部を大阪看護学校と改称した。
1952(昭和27)年	4月	大阪大学医学部附属診療エックス線技師学校及び大阪大学医学部附属助産婦学校が設置された。
1953(昭和28)年	8月	大阪大学歯学部附属医院の設置(昭和26年3月)に伴い、医学部附属医院の診療科から歯科が分離された。
1963(昭和38)年	4月	大阪大学看護学校を大阪大学医学部附属看護学校と改称した。

1964(昭和39)年	3月	本院改築第1期工事が完成した。
1965(昭和40)年	4月	大阪大学医学部附属衛生検査技師学校が設置された。
1966(昭和41)年	4月 12月	大阪大学医学部附属診療エックス線技師学校に専攻科が設置された。 本院改築第2期工事が完成した。
1968(昭和43)年	3月 4月	大阪大学医療技術短期大学部設置(昭和42年6月)後の学年進行に伴い衛生検査技師学校が廃止された。 大阪大学医学部附属病院分院が本院に統合された。
1969(昭和44)年	4月	大阪大学医療技術短期大学部設置後の学年進行に伴い看護学校及び診療エックス線技師学校が廃止された。
1970(昭和45)年	10月	本院改築第3期工事が完成した。
1971(昭和46)年	3月	給食厨房棟が完成した。
1973(昭和48)年	8月	本院改築第4期工事が完成した。
		
1989(平成元)年	3月	吹田市山田丘において病棟等の新築工事を着工した。
1993(平成5)年	9月	中之島キャンパス(大阪市福島区)から吹田キャンパスに移転したと同時に微生物病研究所附属病院を統合した。
		

1993(平成5)年	10月	大阪大学医療技術短期大学部を発展的に解消し、医学部保健学科が設置された。
1994(平成6)年	11月	特定機能病院に承認された。
1995(平成7)年	1月 3月	1月17日午前5時46分阪神・淡路大震災発生、本院に多大の被害が生じた。 ポジトロン核医学診断システム棟が完成した。
1996(平成8)年	3月	大阪大学医療技術短期大学部が閉学された。
1997(平成9)年	3月 7月	大阪大学医学部附属助産婦学校が閉校された。 心臓移植実施施設に認定された。
1998(平成10)年	4月	肺移植実施施設に認定された。
1999(平成11)年	2月 12月	膵臓移植実施施設に認定された。 移植法施行後初の脳死心臓移植を実施した。 小腸移植実施施設に認定された。 病棟屋上にヘリポートが完成した。
2000(平成12)年	4月 5月	診療科が22診療科から6大診療科に再編成された。 肝臓移植実施施設に認定された。
2001(平成13)年	1月	日本医療機能評価機構から認定を受けた。
2004(平成16)年	4月	国立大学法人法の公布に伴い、大阪大学は国立大学法人大阪大学に改められた。
2006(平成18)年	1月	日本医療機能評価機構からVer5.0の認定を受けた。
2008(平成20)年	1月	大阪府からの委託事業としてドクターヘリの運航を開始した。
		
2009(平成21)年	4月	地域がん診療連携拠点病院に認定された。
2011(平成23)年	1月	日本医療機能評価機構からVer6.0の認定を受けた。
2012(平成24)年	6月	移植法改正後初の小児(10歳未満)脳死心臓移植を実施した。

機構／職種別職員数／職員

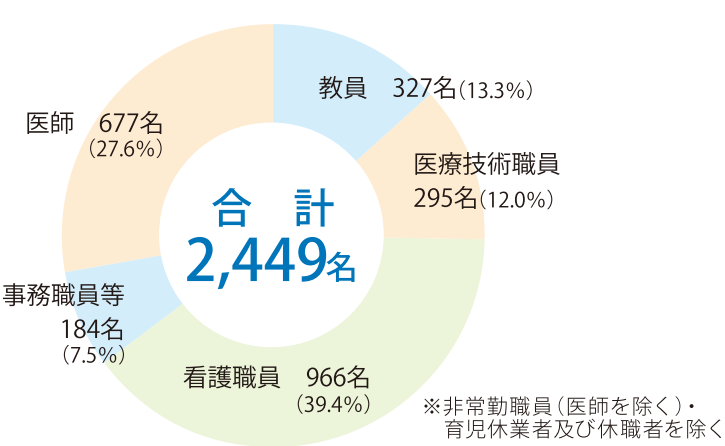
Organization Chart／Number of Staff／Faculty and Administrative Officers

(2015年5月1日現在)

[機構]



[職種別職員数]



[職員]

管理者					
病院長	教授	金倉 讓	病院長補佐 (小児医療・女性支援担当)	教授	大 藺 恵 一
副病院長 (人事・がん診療担当)	教授	野 口 眞三郎	(広報・中央診療施設担当)	教授	富 山 憲 幸
(財務・医療安全・地域医療担当)	教授	樂 木 宏 実	(中期計画・評価担当)	教授	竹 原 徹 郎
(診療体制・再開発担当)	教授	木 村 正	(研究・手術ICU担当)	教授	土 岐 祐一郎
(ホスピタリティ・アメニティ担当)	看護部長	越 村 利 恵	(外部評価・医療情報担当)	教授	松 村 泰 志
			(経営・組織改革担当)	事務部長	吉 原 正 啓

診療部門					
●内科系科	部門長(教授)	下 村 伊一郎	●外科系科	部門長(教授)	森 正 樹
循環器内科	科長(教授)	坂 田 泰 史	心臓血管外科	科長(教授)	澤 芳 樹
腎臓内科	科長(病院教授)	猪 阪 善 隆	呼吸器外科	科長(教授)	奥 村 明之進
消化器内科	科長(教授)	竹 原 徹 郎	消化器外科(下部消化管、肝、胆)	科長(教授)	森 正 樹
内分泌・代謝内科	科長(教授)	下 村 伊一郎	消化器外科(上部消化管、膵)	科長(教授)	土 岐 祐一郎
呼吸器内科	科長(病院教授)	木 島 貴 志	乳腺・内分泌外科	科長(教授)	野 口 眞三郎
免疫・アレルギー内科	科長(教授)	熊ノ郷 淳	小児外科	科長(教授)	奥 山 宏 臣
血液・腫瘍内科	科長(教授)	金 倉 讓	病理診断科	科長(教授)	森 井 英 一
老年・高血圧内科	科長(教授)	樂 木 宏 実			
漢方医学科	科長(寄附講座准教授)	萩 原 圭 祐			

●感覚・皮膚・運動系科	部門長(教授)	西 田 幸 二
眼科	科長(教授)	西 田 幸 二
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長(教授)	猪 原 秀 典
整形外科	科長(教授)	吉 川 秀 樹
皮膚科	科長(教授)	片 山 一 朗
形成外科	科長(教授)	細 川 互

●脳神経精神科	部門長(教授)	望 月 秀 樹
神経内科・脳卒中科	科長(教授)	望 月 秀 樹
神経科・精神科	科長事務取扱(病院教授)	田 中 稔 久
脳神経外科	科長(教授)	吉 峰 俊 樹
麻酔科	科長(教授)	藤 野 裕 士

●女性・母子・泌尿生殖科	部門長(教授)	大 藺 恵 一
産科	科長(教授)	木 村 正
婦人科	科長(教授)	木 村 正
小児科	科長(教授)	大 藺 恵 一
泌尿器科	科長(教授)	野々村 祝 夫

●放射線科	部門長(教授)	畑 澤 順
放射線診断科	科長(教授)	富 山 憲 幸
放射線治療科	科長(教授)	小 川 和 彦
核医学診療科	科長(教授)	畑 澤 順

中央診療施設			
●臨床検査部	部長(病院教授)	日 高 洋	
●手術部	部長(病院教授)	南 正 人	
●放射線部	部長(教授)	富 山 憲 幸	
●総合周産期母子医療センター	センター長(教授)	木 村 正	
●材料部	部長(病院教授)	高 階 雅 紀	
●集中治療部	部長(教授)	藤 野 裕 士	
●病理部	部長(教授)	森 井 英 一	
●リハビリテーション部	部長(教授)	吉 川 秀 樹	
●輸血部	部長(病院教授)	富 山 佳 昭	
●総合診療部	部長(教授)	樂 木 宏 実	
●医療情報部	部長(教授)	松 村 泰 志	
●高度救命救急センター	センター長(教授)	嶋 津 岳 士	
●感染制御部	部長(教授)	朝 野 和 典	
●中央クオリティマネジメント部	部長(病院教授)	中 島 和 江	
●サプライセンター	センター長(病院教授)	高 階 雅 紀	
●MEサービス部	部長(病院教授)	高 階 雅 紀	
●血液浄化部	部長(病院教授)	猪 阪 善 隆	
●保健医療福祉ネットワーク部	部長(教授)	樂 木 宏 実	
●卒後教育開発センター	センター長(教授)	和 佐 勝 史	
●移植医療部	部長(教授)	奥 村 明之進	
●栄養マネジメント部	部長(教授)	下 村 伊一郎	
●遺伝子診療部	部長(教授)	望 月 秀 樹	
●看護部キャリア開発センター	センター長	越 村 利 恵	

●脳卒中センター	センター長(教授)	吉 峰 俊 樹
●前立腺センター	センター長(教授)	野々村 祝 夫
●化学療法部(腫瘍センター)	部長(病院教授)	水 木 満佐央
●睡眠医療センター	センター長(教授)	望 月 秀 樹
●内視鏡センター	センター長(教授)	土 岐 祐一郎
●疼痛医療センター	センター長(教授)	吉 峰 俊 樹
●生殖医療センター	センター長(教授)	野々村 祝 夫
●超音波検査センター	センター長(教授)	坂 田 泰 史
●ハートセンター	センター長(教授)	坂 田 泰 史
●小児医療センター	センター長(教授)	大 藺 恵 一
●オンコロジーセンター	センター長(教授)	野 口 眞三郎
●放射線治療部	部長(教授)	小 川 和 彦
●呼吸器センター	センター長(教授)	奥 村 明之進
●てんかんセンター	センター長(教授)	大 藺 恵 一
●消化器センター	センター長(教授)	森 正 樹
●IVRセンター	センター長(講師)	大須賀 慶 悟

●薬剤部	部長(病院教授)	三 輪 芳 弘
	副部長	門 脇 裕 子
	副部長	勝 浦 正 人

●看護部	部長	越 村 利 恵
	副部長	萩 原 さがみ
	副部長	前 田 正 美
	副部長	谷 浦 葉 子
	副部長	岩 崎 朋 之

●医療技術部	部長	土 井 司
	副部長	前 田 育 宏
	副部長	橋 田 剛 一
	副部長	吉 田 靖

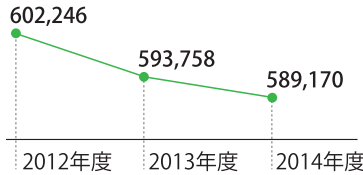
●未来医療開発部	部長(教授)	西 田 幸 二
	副部長(教授)	朝 野 和 典
	副部長(教授)	松 村 泰 志
	副部長(教授)	竹 原 徹 郎
	センター長(教授)	竹 原 徹 郎
	センター長(寄附講座教授)	新 谷 歩
	センター長(教授)	中 田 研

●事務部	部長	吉 原 正 啓
●総務課	課長	藤 江 進
災害対策室	室長	藤 江 進
●管理課	課長	岡 田 俊
●教育研究支援課	課長	岡 眞治郎
●医事課	課長	足 立 博 行
患者サービス推進室	室長	足 立 博 行
●再開発企画整備室	室長	岡 田 俊

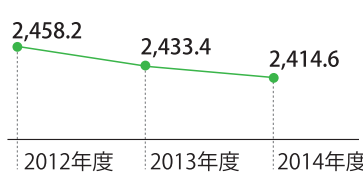
[診療科別外来患者数]

区 分	外来患者延数 (単位:人)	一日平均患者数 (単位:人)	平均通院日数 (単位:日)
■総合診療外来	4,973	20.4	11.1
■循環器内科	29,058	119.1	41.5
■腎臓内科	15,994	65.5	90.9
■消化器内科	44,466	182.2	50.8
■内分泌・代謝内科	45,788	187.7	98.3
■呼吸器内科	12,595	51.6	34.3
■免疫・アレルギー内科	19,292	79.1	36.3
■血液・腫瘍内科	18,714	76.7	58.5
■老年・高血圧内科	15,682	64.3	67.0
■心臓血管外科	11,082	45.4	26.4
■呼吸器外科	5,926	24.3	28.1
■消化器外科	28,162	115.4	32.3
■乳腺・内分泌外科	19,333	79.2	33.1
■小児外科	4,899	20.1	17.9
■眼科	51,068	209.3	12.5
■耳鼻咽喉科・頭頸部外科	27,214	111.5	17.6
■整形外科	32,430	132.9	18.6
■皮膚科	26,325	107.9	17.7
■形成外科	7,824	32.1	14.5
■神経内科・脳卒中科	19,975	81.9	27.0
■神経科・精神科	25,927	106.3	38.5
■脳神経外科	14,030	57.5	19.0
■麻酔科	11,447	46.9	39.2
■産科・婦人科	28,686	117.6	13.9
■小児科	23,889	97.9	29.1
■泌尿器科	23,044	94.4	34.7
■放射線診断科	17,131	70.2	105.7
■放射線治療科			
■核医学診療科			
■高度救命救急センター	272	1.1	4.9
■歯科	3,944	16.2	4.4
合 計	589,170	2,414.6	25.6

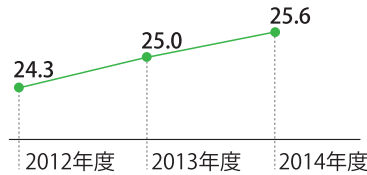
[外来患者延数の推移]
(単位:人)



[一日平均患者数の推移]
(単位:人)



[平均通院日数の推移]
(単位:日)

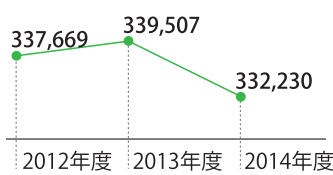


[病棟フロア別入院患者数]

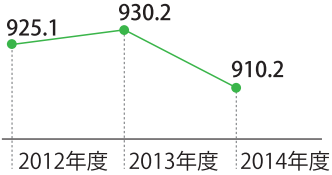
西病棟						東病棟					
階	診療科	入院患者延数 (単位:人)	1日平均入院患者数 (単位:人)	平均在院日数 (単位:日)	病床稼働率 (単位:%)	階	診療科	入院患者延数 (単位:人)	1日平均入院患者数 (単位:人)	平均在院日数 (単位:日)	病床稼働率 (単位:%)
13	■脳神経精神科 (脳神経外科)	15,001	41.1	16.8	84.7	13	■感覚・皮膚・運動系科 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)	16,147	44.2	19.0	90.3
12	■女性・母子・泌尿生殖科 (泌尿器科)	15,898	43.6	20.3	90.7	12	■内科系科 (内分泌・代謝内科/ 免疫・アレルギー内科)	15,499	42.5	24.3	82.5
11	■外科系科 (消化器外科)	16,766	45.9	23.7	91.9	11	■内科系科 (消化器内科)	16,746	45.9	16.8	91.8
10	■外科系科 (消化器外科/共通)	17,815	48.8	22.0	93.0	10	■内科系科 (血液・腫瘍内科)	12,401	34.0	41.5	66.6
9	■外科系科 (心臓血管外科)	17,391	47.6	17.1	97.2	9	■内科系科 (循環器内科)	14,621	40.1	14.5	80.1
8	■外科系科 (乳腺・内分泌外科) ■感覚・皮膚・運動系科 (皮膚科/形成外科)	15,803	43.3	13.0	86.6	8	■脳神経精神科 (神経内科・脳卒中科) ■内科系科 (老年・高血圧内科) ■感覚・皮膚・運動系科 (皮膚科)	15,690	43.0	19.7	86.0
7	■感覚・皮膚・運動系科 (眼科)	16,885	46.3	12.3	87.3	7	■内科系科(呼吸器内科) ■外科系科(呼吸器外科)	16,128	44.2	17.7	90.2
6	■外科系科 (小児外科/外科共通)	12,760	35.0	12.0	87.4	6	■女性・母子・泌尿生殖科 (小児科)	14,284	39.1	10.8	82.4
5	■感覚・皮膚・運動系科 (整形外科)	17,261	47.3	23.4	91.8	5	■女性・母子・泌尿生殖科 (産科/婦人科)	15,562	42.6	12.1	85.3
4	■集中治療部	4,675	12.8	15.0	92.0	4	■共通	3,436	9.4	44.9	50.6
3	■総合周産期 母子医療センター	12,776	35.0	6.1	92.1	3	■内科系科 (腎臓内科/内科共通) ■放射線科 ■脳神経精神科 (麻酔科)	10,402	28.5	13.5	66.3
						2	■脳神経精神科 (神経科・精神科)	12,011	32.9	50.0	63.3
						1	■高度救命 救急センター	6,272	17.2	8.6	85.9

合 計	入院患者延数 (単位:人)	332,230	一日平均入院患者数 (単位:人)	910.2	平均在院日数 (単位:日)	16.3	病床稼働率 (単位:%)	84.6
-----	------------------	---------	---------------------	-------	------------------	------	-----------------	------

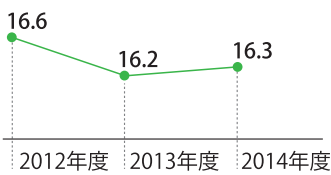
[入院患者延数の推移]
(単位:人)



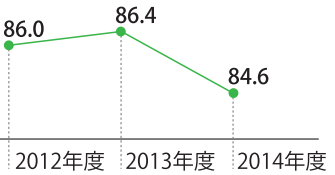
[一日平均入院患者数の推移]
(単位:人)



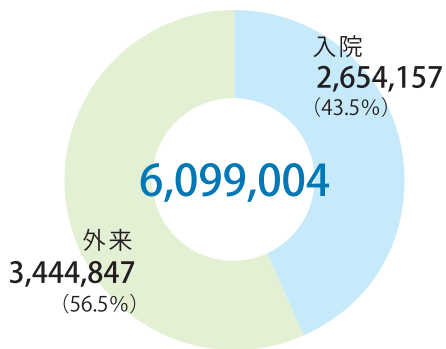
[平均在院日数の推移]
(単位:日)



[病床稼働率の推移]
(単位:%)



[臨床検査件数] (単位：件)



[手術件数] (単位：件)

■心臓血管外科	1,070
■呼吸器外科	275
■消化器外科	754
■乳腺・内分泌外科	361
■小児外科	461
■眼科	2,787
■耳鼻咽喉科・頭頸部外科	739
■整形外科	764
■皮膚科	251
■形成外科	525
■神経科・精神科	179
■脳神経外科	474
■麻酔科	47
■産科、婦人科	818
■泌尿器科	570
■高度救命救急センター	72
■骨髄採取 (血液・腫瘍内科、小児科)	4
■その他 (小児科・循環器内科・消化器内科)	29
合 計	10,180

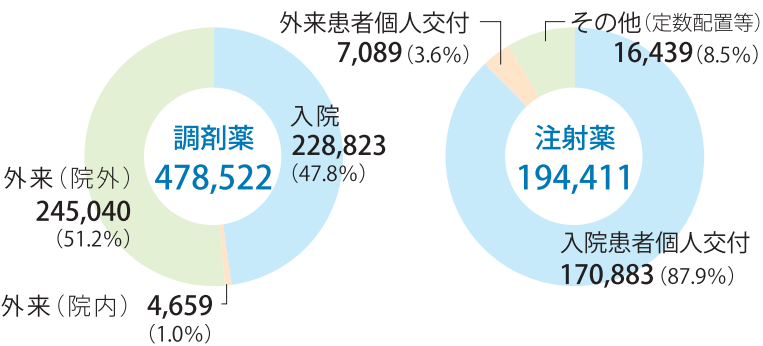
[画像検査患者数] (単位：人)

区 分	入院患者数	外来患者数	合 計
■一般撮影	55,703	52,029	107,732
■特殊検査	20,495	29,148	49,643
■核医学検査	1,759	4,881	6,640
合 計	77,957	86,058	164,015

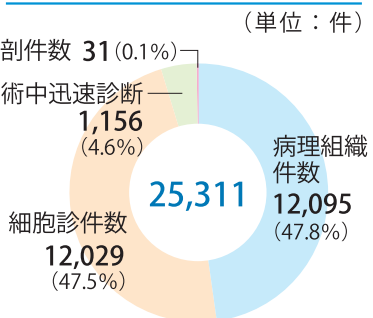
[輸血検査件数] (単位：件)

■血液検査 ABO,Pho(D)	18,563
■その他血液型	65
■不規則抗体検査 (スクリーニング検査)	14,754
■交差適合試験	14,410
■抗血小板抗体検査	195
■寒冷凝集反応	189
■直接クームス試験	276
■間接クームス試験	258
合 計	48,710

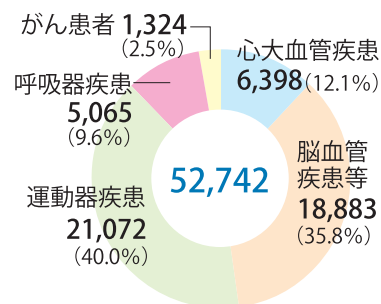
[処方枚数] (単位：枚)



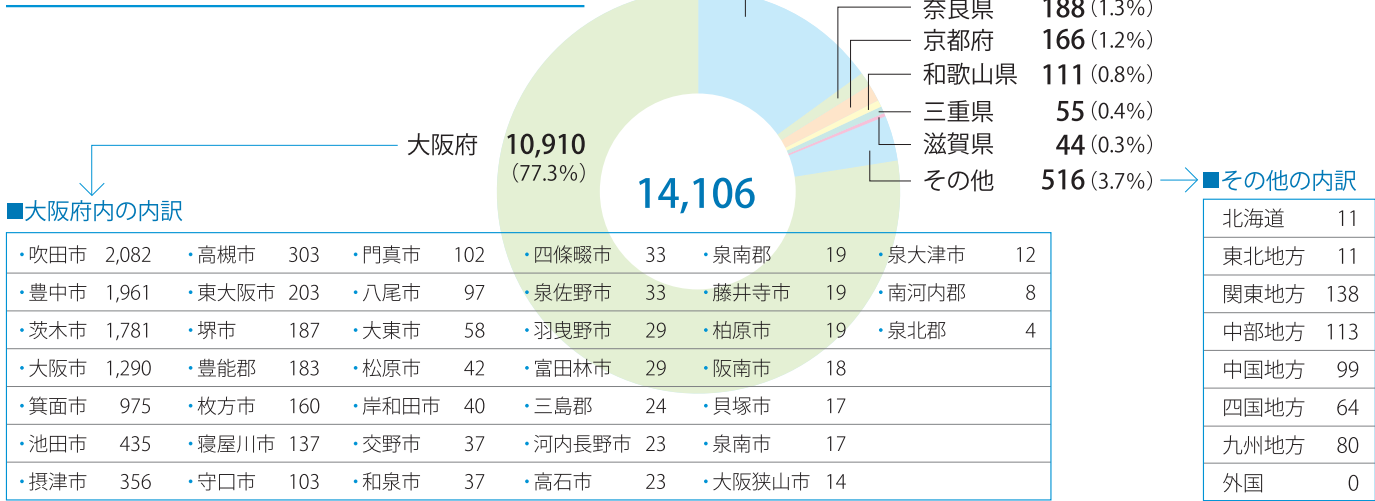
[病理業務件数] (単位：件)



[リハビリテーション実施単位数]



[地域別入院患者数] (単位：人)



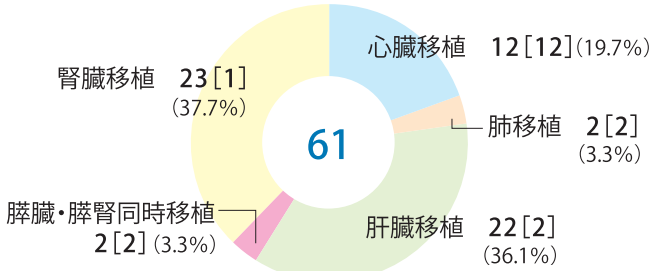
[治験件数] (単位：件)

	総件数	総症例数
■医薬品	新規	76
	継続	144
	小計	220
■医療機器	新規	2
	継続	11
	小計	13
総 計	*233	*920

※医師主導医薬品治験17件190症例を含む

[移植件数] (単位：件)

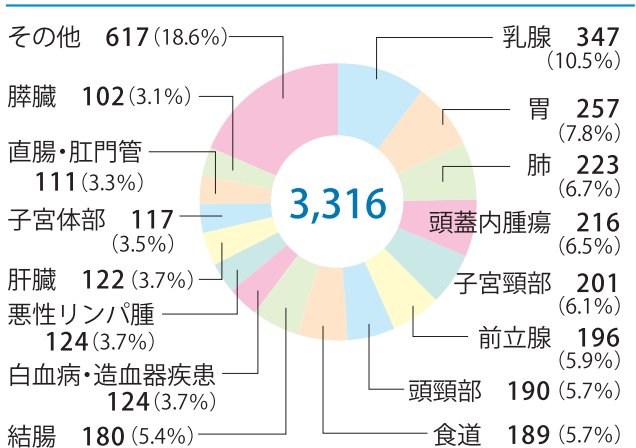
①臓器移植件数 ※[]内は、脳死、心停止下臓器移植件数



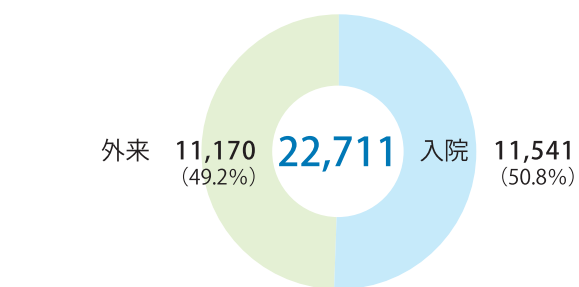
②造血幹細胞移植件数

区 分	成人	小児
■血縁者間移植	8	3
■非血縁者間移植	17	2
・骨髄バンク	14	1
・臍帯血	3	1
■自家移植	4	2
合 計	29	7

[院内がん登録件数] ※2013年 (単位：件)



[入院、外来抗がん剤調製件数] (単位：件)



[ドクターヘリ出動件数] 142件

[分娩件数] 545件

[血液浄化療法施行件数] 4,504件

医療機関の承認・指定状況等

Legal Authorization of Medical Services

[医療機関の承認]

- 臨床修練指定病院
- 医療法第7条第1項による開設許可（承認）
- 健康保健法による（特定承認）保険医療機関
- 生活保護法による医療機関
- 労働者災害補償保険法による医療機関
- 原爆医療法による一般医療法
- 原爆医療法による認定医療法
- 母子保健法による妊婦乳児健康診査
- 母子保健法による養育医療
- 戦傷病者特別援護法による厚生医療
- 特定機能病院の名称の使用承認
- エイズ治療拠点病院
- 大阪府災害拠点病院
- 感染症予防法による指定届出機関（基幹定点）
- 大阪府三次救急医療機関
- 大阪府肝炎専門医療機関
- 覚せい剤取締法による国の開設する覚せい剤施用機関
- 障害者自立支援法による更生医療
- 障害者自立支援法による育成医療
- 障害者自立支援法による精神通院
- 入管難民法による出入国管理及び難民認定法に基づく指定医
- 大阪府総合周産期母子医療センター指定
- 医療観察法による指定通院
- 大阪府肝疾患診療連携拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 児童福祉法第19条の9第1項の規定による指定小児慢性特定疾病医療機関
- 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関
- 臨床教授等指定病院

※太字は大阪府による承認指定

[先進医療]

- 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療
- 前眼部三次元画像解析
- 急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法
急性心筋梗塞（再灌流療法の成功したものに限る）
- 自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療
- ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術 原発性若しくは転移性肝がん又は肝良性腫瘍
- パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る）の併用療法
上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん
- 自己口腔粘膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術角膜上皮幹細胞疲弊症
（二十歳以上かつ書面により同意した場合であって、移植の対象となる眼球の角膜上皮幹細胞が角膜全体にわたり疲弊し、角膜の表面全体が結膜組織で被覆されているものに限る）
- 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る）
- 経カテーテル大動脈弁植込み術 弁尖の硬化変性に起因する重度大動脈弁狭窄症（慢性維持透析を行っている患者に係るものに限る）
- ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病
（血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る）
- 腹腔鏡下広汎子宮全摘術
- 上肢カッピングガイド及び上肢カスタムメイドプレートを用いた上肢骨変形矯正術 骨端線障害若しくは先天奇形に起因する上肢骨
（長管骨に限る。以下この号において同じ）の変形又は上肢骨の変形治療骨折（一上肢に二以上の骨変形を有する者に係るものを除く）

経理状況／未来医療の推進

Finance／Translational Research

[収入と支出]（2014年度）※受託研究等外部資金及び施設費は除く

収入（単位：千円）		支出（単位：千円）	
区 分	金 額	区 分	金 額
運営費交付金	5,744,419	人件費	13,566,331
附属病院収入	33,759,381	医療費	15,406,479
その他収入	747,507	債務償還経費	4,315,005
		業務費	6,963,492
合 計	40,251,307	合 計	40,251,307

[受託研究等外部資金及び施設費]

外部資金受入額（単位：千円）			施設費（単位：千円）		
区 分		金 額	区 分		金 額
受託研究等収入	受託研究	160,565	施設整備	オンコロジーセンター棟	478,266
	治験	543,254		集中治療支援システム	200,000
	共同研究	51,847		PET-CT検査システム	230,000
受託事業等収入	受託実習生	3,089	設備整備	内視鏡ビデオシステム	83,000
	病院研修生	2,447		耳鼻咽喉画像検査システム	80,172
	その他	4,013		眼科外来支援システム	79,900
	共同事業	19,800		内視鏡下手術システム	229,699
寄付金収入		69,473		臨床検査システム	184,170
補助金等収入		743,879		SPECT-CT検査システム	109,935
合 計		1,598,367		血管撮影装置システム	189,000
			合 計		1,864,142

トランスレーショナルリサーチの推進

新しい医療を開発し、臨床の場で試用してその有効性と安全性を確認し、
日常医療へ応用していくトランスレーショナルリサーチ（TR）を実践推進していきます。

- TRの実施件数（2014年度）
- 実施件数：8件（症例数：21例）
 - 新規許可件数：5件

診療と教育・研究のグローバル化

本院では2013年4月に、外国人診療や外国人医療研修に関連する様々な業務やコーディネートを一貫して行う部署として、
国際医療センターを設置し、各部署と連携しながら診療と教育のグローバル化を目指して下記の事業に取り組んでいます。

| インバウンド基盤整備

- 海外からの患者受入れ体制の整備
- 海外からの医療研修受入れの推進
- 関西での国際医療ネットワーク形成

| アウトバウンド

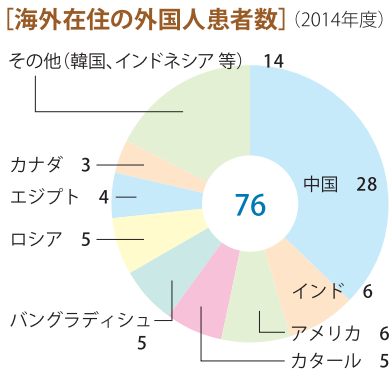
- 世界市場への日本の医薬品・医療機器の展開
- 国際共同治験・共同研究の推進
- 日本の医療システムの海外進出

| 国際医療教育・研究

- 大阪大学内外の研究・教育施設との協力による国際医療教育・研究の推進

| 国際機能評価

- 国際病院評価機構（JCI）や外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）受審に向けた準備



構内建物配置図／階別配置図・病床数
Buildings Layout／Building Directory and Number of Beds



[病棟・診療棟(病床数 1,086床) ※フェーズⅠ病床(10床)を含む]

西病棟			東病棟	
14階	レストラン、休憩所、会議室、中央クオリティマネジメント部			
13階	脳神経外科	49床	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	51床
12階	泌尿器科	48床	内分泌・代謝内科、免疫・アレルギー内科	53床
11階	[消化器センター] 消化器外科	50床	[消化器センター] 消化器内科	50床
10階	[消化器センター] 消化器外科、共通	53床	血液・腫瘍内科、化学療法(主に消化器外科)	52床
9階	[ハートセンター] 心血管外科、CVCU	49床	[ハートセンター] 循環器内科、CCU	50床
8階	乳腺・内分泌外科、皮膚科、形成外科	50床	神経内科・脳卒中科、SCU、老年・高血圧内科、皮膚科	50床
7階	眼科	53床	[呼吸器センター] 呼吸器内科、呼吸器外科	49床
6階	[小児医療センター] 小児外科、心血管外科、整形外科、外科共通	40床	[小児医療センター] 小児科	48床
5階	整形外科	53床	産科、婦人科	50床
4階	集中治療部(ICU)	10床	移植・再生医療病棟 第2ICU	12床 3床
3階	[総合周産期母子医療センター] 周産期母子医療、MFICU、NICU	38床	腎臓内科、放射線科(RI病室)、麻酔科、内科共通	43床
2階	看護部、血液浄化部		神経科・精神科	52床
1階	リハビリテーション部、郵便局、ローソン、食堂等		高度救命救急センター 医療情報部、入退院センター、守衛室、防災センター	20床
B1階	病理部、栄養管理室、厨房、霊安室		薬剤部、医事課事務室	

[外来・中央診療棟]

中央診療施設等		外 来	その他
4階	手術部、集中治療部、総合診療部、感染制御部、卒後教育開発センター	フェーズⅠ病床 10床	ボランティア室、院内学級職員室、シミュレーション室、医事課事務室
3階	材料部、病理部、輸血部、MEサービス部、前立腺センター 麻酔科術前外来	泌尿器科、産科、婦人科、神経科・精神科、外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、形成外科	患者図書コーナー、相談室、臨床治験コーナー
2階	臨床検査部、看護部キャリア開発センター、内視鏡センター	内科西、内科東、糖尿病ケア・看護、麻酔科、小児科、小児外科、脳神経外科	授乳室
1階	放射線部、保健医療福祉ネットワーク部 薬剤部	眼科、整形外科、総合診療、漢方、補完医療、化学療法室、感染制御、セカンドオピニオン	総合案内、外来受付カウンター、予約変更センター、診断書等受付窓口、院外処方せんFAX送信コーナー、がん相談支援室、患者相談室、栄養相談室、相談室、医事課事務室
B1階	放射線部、サプライセンター、遺伝子診療部、放射線治療部	放射線科、緩和ケア	歯科治療室、中央病歴室

※配置図はP17を参照ください。

[医学部・同附属病院共通棟]

3階	医学部長室、病院長室、事務部長室 会議室 等
2階	病院 総務課事務室 病院 管理課事務室
1階	病院 管理課事務室 医学部 事務室

[最先端医療イノベーションセンター棟]

4階	移植医療部、未来医療開発部 病院 教育研究支援課事務室
----	-----------------------------

※経済産業省の平成22年度先端技術実証・評価設備整備費補助金(技術の橋渡し拠点事業)により、大阪大学医学系研究科に設立された、産学官連携の研究拠点(地上9階・地下1階建て)

施設の案内

Hospital Facilities

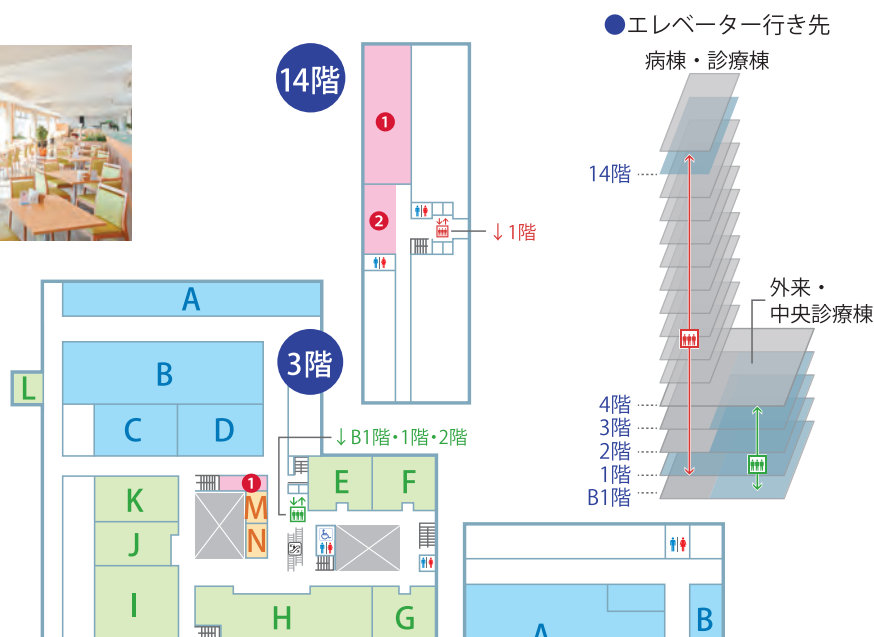
14階

- 1 スカイレストラン
- 2 休憩所



3階

- A 病理部
- B 材料部
- C 輸血部
- D MEサービス部
- E 泌尿器科/前立腺センター
- F 産科/婦人科
- G 神経科・精神科
- H 外科
- I 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- J 皮膚科
- K 形成外科
- L 麻酔科術前外来
- M 臨床治験コーナー
- N 相談室
- 1 患者用図書コーナー

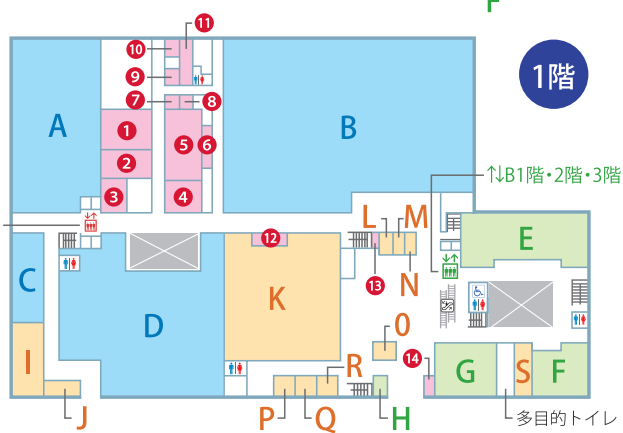


2階

- A 臨床検査部
- B 内視鏡センター
- C 看護部キャリア開発センター
- D 内科西
- E 内科東
- F 糖尿病ケア・看護
- G 麻酔科
- H 小児科
- I 小児外科
- J 脳神経外科
- 1 授乳室

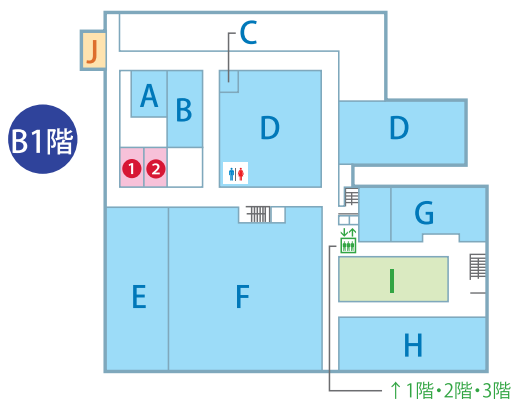
1階

- A リハビリテーション部
- B 放射線部
- C 医療情報部
- D 高度救命救急センター
- E 眼科
- F 整形外科
- G 総合診療
- H 感染制御
- I 入退院センター
- J 守衛室/防災センター
- K 外来受付カウンター・事務室
- L 予約変更センター
- M 診断書等受付窓口
- N 院外処方せんFAX送信コーナー
- O 総合案内
- P 栄養相談室1・2
- Q 患者相談室
- R 相談室1・2/セカンドオピニオン
- S がん相談支援室
- 1 食堂
- 2 サブウェイ
- 3 院内郵便局
- 4 オープンテラス
- 5 ローソン
- 6 薬店
- 7 美容室
- 8 理容室
- 9 うどん店
- 10 うなぎ店
- 11 医学専門書籍店
- 12 スターバックスコーヒー
- 13 三菱東京UFJ銀行ATM
- 14 三井住友銀行ATM



B1階

- A サプライセンター
- B 遺伝子診療部
- C 歯科治療室
- D 核医学検査室
- E 薬剤部
- F 中央病歴室
- G 放射線治療部
- H MRI検査室
- I 放射線科/緩和ケア
- J 霊安室
- 1 貸しふとん(相談コーナー)
- 2 テレビ・冷蔵庫(相談コーナー)



[エントランスホール]



[オープンテラス]



[患者用図書コーナー]



[正面玄関]



[病棟・診療棟外観]

The Photograph of Osaka University Hospital

写真で見る大阪大学医学部附属病院



[ホスピタルパーク]



[ドクターヘリ]



[小児医療センター]



[単光子断層装置(SPECT)]



[入退院センター]



[手術支援ロボット ダヴィンチ]



[総合周産期母子医療センター 分娩室]



[抗がん剤調製室]



[外来化学療法室]